

○妙法寺日圓山と号す和田堀の内村より日蓮宗一致派ありて頗る宏壯の寺院あり宗祖日蓮の像ハ世に除厄の御影と称す日朗上人の作ありて其先ハ碑衾村の妙法華寺ありしと元祿の頃故ありて其寺を天台宗に改めらばしとて以て當寺に移せりといふ當寺ハ東都日本橋を距る西三里許中野停車場より南半里余あり常ニ宗

○中野村ハ淀橋村の西といふ淀橋の地と共に小繁華となす此地ハ東多戸郡に属して其昔ハ武藏野の中央ありあまび斯くハ号づけけりしや中野ニ停車場あり中野停車場といふ○宝泉寺明王無動院と号す古義の真言宗より中野村あり當寺ニ享保年間交趾國より貢獻する所の馴象の枯骨を藏むるハ世人の皆知る所なり○桃園同所より十町許西方あり享保の頃幕府命じて此辺の田畝を悉く桃樹を栽しめ且此地を桃園と呼びしめりといふ今尚桃樹所々ニ散在してけさば弥生の頃ハ紅白色を交へて最と麗なり○新井薬師野方村の新井とよぶる処あり中野停車場より北半里をり俗よんで子育薬師といふ参詣人多し毎月十二日ハ特に群集となすぬ

天弁頭ノ井



○井頭辨天祠北多戸郡の武藏野村にあり井頭と称す池の中は島ありて宮居とたす源頼朝の創建たる所なりといふ

○井頭池神田上水の源にして廣表西北より東西に曲屈して三百歩許池水常不泌沸として清泉湧出大旱と雖とも涸ることなし東都數千万の居民半ハ飲料水と此池水に仰ぐ其泉源の混々たる知るべきなり

徒の参詣絶ざる中にも七月の法華千部會十月の會式より群集雜沓を極む蓋し世は謂ゆる法華の偏固と冷語を叩くがけ其宗徒の信仰は熱心なるに狂するが如く又お利口連の名あるも宜なることなり門前には茶亭酒樓ありて飲食共足る地都下を離るるを以て自ら熱鬧の塵埃を避るる妙たりけしむ時々参詣がてら散財に出懸け豆腐芋雜汁を信樂小食ぬじ

○大宮八幡宮高井戸村の和田とよむる処あり故に和田八幡ともいふ應神天皇を祀る相傳ふ當社に其先多田滿仲の奉祀する所なりといひり域内の老松老杉檜々として雲を拂ひ數百歳を經し相と表し最閑雅幽逸の趣きあり又社前の大路は往古の鎌倉街道にして今土人の正用道と唱ふ南の方を鎌倉橋と呼ぶ橋ありて見ても古へ街道たりと知ぬぐ一鞍懸松一本松と稱して古松の鬱蒼として繁茂するものあり

此地頗る寂寥せまきうも閑雅けんあにして幽致ゆうち深く池いけを繞りて柳樹多
く初夏の候こうに至いたるは新葉しんは薫々くわんくわんとして陰深かげふかく淺翠せんすい嬌青せうせい碧空へきくうと
藏かくひ杉松しんしょう枝えだと交まじりて天日てんじつを遮さかりぬまは夏時の遊覽あそび最も宜よろし
故ゆゑに近來都下より幽閑の地を探るもの此境このまはに來る少すくなりら
ず殊ことに境停車場より東十五六町とうじゅうごくちやうありあまは小金井の桜花おうかくを
賞あはして歸路きりぢ此地このちに廻めぐるも迂路うぢうはあらざるべし
○小金井桜こがねいざくらハ境停車場より北五六丁玉川上水堀たまがわの上みづほり兩岸の芝塘しばたう
に栽うゑぬ東西二里許にしりこほ桜樹おうかくある処九村くさむらに跨り其數大凡一万余株いちまんにちぢう
あり中央上水ちゆうおうの上みづに架かす橋はしと小金井橋こがねいばしと稱す橋のあり処ハ小
金井村こがねいむらに就あつ中佳境ちゆうけいなり関花爛熳せつかんらんまんのとき此橋上より顧望こぼろ
すまは上水の上みづを夾ささんで落英らくえい繽紛ふんぷん雪ゆきと散り雲くもと乱みだりて一目千
里前後せんりちゆうご尽つるを知らず宛然えんぜん白雲の中しらくもにあるが如く蓬壺ほううの仙臺せんたい
み至いたるるとあやまるとをくり實じつは関東第一くわんとだいいちの觀花くわんか所ところなり

ぬべし故ゆゑに近年しんねん騷人さうじん韻士いんしハ更さらなり貴頭きとう縉紳しんしんの來り賞あはするも
の多おほく其盛さかんなる馬車ばしや人ひと力ちから車くるま相接せうせつし人行じんぎやう織をるが如く一時いつとき俄いに雜ざつ
沓たぶの場ばとなりぬ橋頭はしづつに柏屋かしやなんよぶる田舎料理いんやぢりと旅宿りやくを兼
ぬるの家いへあり桜樹おうかくの下上水のしたみづに臨まみてける其他その他茶亭ちやていの花間はなまハ
ありて酒さけを煖あめ茶ちやを煎いるもの少すくなりぬべし
○大國魂おほくにたま神社しんじや官幣くわんぺい小社せうしやにして大己貴命おほのみかのみこと素盞すま雄尊おしむねを祀まつる旧六
所むすほ明神あきみじんと呼よびて府中ふちゆう駅の中央ちゆうおうにあり社しやハ朱塗しゆぬにして宏壯こうそうな
り境内きんないハ杉樹しんじゆのまきとて陰森いんじん蒼蒼そうそう自みづから神かみ灵たまの在ある
が如ごとく毎歲まいさい五月五日ごご例祭れいさいありて夜間よかん神輿かみこと渡御わたごし數方あまたの燈あかり
提夜ていよ尚書しやうしよの如ごとく實じつハ一大奇觀いちだいきくわんなり
府中ふちゆう駅えきハ甲州街道かうしゆうかうだうの官くわん駅えきにして東京とうきやう日本橋にっぽんばしを距とほる西八里許さいはちりこほ
國分寺くにわけぢやうぢ停車場ていしやば南三十丁なんしじゆうぢやうにあり旅舎りよしや妓樓きろう雜商ざしやう軒けんを並ならべて小繁せうはん
華はなをなす都下みやこしたの人ひと小金井こがねいに遊あそび玉川たまがわに遊あそぶる必かなららず此地このち

OKUNITAMA JINJA.



六郷川となり海に注ぐ羽
 村に堰を設けて此水を引
 く即ち玉川上水なり日野
 津より以西ハ水石の美な
 る對岡の風景奇絶なり
 名状すべからざり一以東
 ハ平地あり一も長流の經
 る所隨て觀を更め亦勝景
 なるもふあらず鮎を以て此
 川の名産とす初夏の頃よ
 り晩秋の頃まで畝すべ
 故に都下の人遊獵に來る
 もの多し蓋し往復馬車の

KOGANEI NO SAKURA.



よ來る蓋し道程小金井櫻
 花は北一里余ふして玉川
 は南十町許なりを以てなり
 居士が生宅ハ大國魂神社
 の南ふあり家翁今尚往
 蚕桑の暇筆硯を弄して相
 樂めり此地往昔の御殿跡
 たりとして御殿地の称あり
 ○玉川ハ當國第一の勝壁
 たり其源を甲斐國イサ
 ルが嶽より發し西南北
 の多摩郡に入り秋川
 川等をあもむせて東流し



便ありつるゝ汽車も開け
ぬまば 特ニ便りよろしき
が故なり

○百草園玉川の南岸百草
とよぶる処あり旧松蓮
寺と称する黄蘗派の精舎
ありて名勝の地なり松蓮
寺ハ天平年間草創不係
り寺のある処高岡より
千里目を遮るものなり
けきば 眺望絶奇其名頗る
深き文人墨客杖を曳きて
其勝を愛するもの甚なりら

ざりしが維新の後ハ堂宇毀壞し荒果たる趾ハ農家となりて
更ニ地の勝壁を訪ふものとしてハたよりり而るハ客歳有志輩
其地荒壊のこの自然の風景を賞するものなきを惜み相謀り
て寺院の跡ハ一園を經營し桜樹を栽名茶亭酒樓を設けて名
を百草園と命けり此に於て萬望百勝觀を更らめ一大壯觀
の地となり山水の勝眺望の爽豁なる玉川沿岸の地能く及ぶ
ものあり

○離宮蓮光寺村あり西渭向が岡ありて玉川に臨みて風光
絶佳の処なり近時離宮の北部ハ桜樹数百株を栽えけき花
時ハ紅緑相映して一層の風致を増せり

郡郷西北之部

○高田馬場北豊島郡高田村あり東西六町南北三十余間往
時予馬を調練せし所なり

○山吹の里同所の民家の辺をう唱ふ令の稱して向砂利場といふ
○氷川神社高田村にあり素盞雄尊を祀る俗呼んで男体宮と
稱す同所の鎮守なり落合村に又氷川神社ありて奇稻田姫命
を祀るをまを俗女体宮と稱せり

○七曲坂落合村にあり曲折するを以て此名あり

○落合土橋落合村にあり此地玉川上水と神田上水と會流す
る処なきは落合と名づくといへり此地の螢の名所ありて芒
種の後より夏至の頃までを盛とす草葉不すがら滴る露
と疑ひ高く飛ぶ天星々と訝るをりり游人暮を待て此道
遙賞して壯觀とす夜涼しく人定まり風清き不至り始め
て帰路を促さんことを思ひ出るに実不二興なりとや

○藤の森稻荷社落合村にあり又東山稻荷ともいふ常小詣す
るもの多し社のありて高阜ありて樹木あり社の側は小滝あり

りて幽静なり

○大洗の堰目白の崖下なり承應年間幕府の命より井の
頭の池水を以て江戸大城の下に通せしむるに當り此地に
堰を設けて余水を分り而るに天明年間洪水ありて堰崩る
るを以て再び堅固に築き且つ先の堰より其高さを減ずるが
故水嵩を溢る時も其上を流るるを以て損するの患なきとい
へり今尚存して依然なり

○龍隱庵 大洗堰の畔にあり慈覚大師彫造の觀世音と安
置す閑雅の境なりて南に早稲田の耕地を眺め西に芙蓉の
白峰を顧み東に堰口ありて水音冷々として清らなり北に
目白臺嶺え月の夕雪の朝の風光も亦備き一勝地なり

○鬼子母神雜師ヶ谷村にあり堂宇壯麗なり境内に樹木陰森
冥龜の扱るが如く常小詣人多し會式等殊更群集して頗る熱



開せり門前の左右に飲食店軒を列ねて鬼子母神の繁昌と共繁昌せしが今冷淡を来し僅に二三を余すのみ且當山の花の名所にして境内に桜樹數多ありけき遊賞するもの多かりしども今たご其名のなかりしが近時堂の後不胞衣埋納所を設けて衆人へ埋納すること吾孀森のこきなり

○法明寺威光山と号す同所不ありて最も古刹なり支院八宝堂塔境内不並び立ち庫裡の如き鉦作みて昔のまゝと存し閑寂寺院なり

○巢鴨駒込の諸村に農商雜居して種樹を業とすもの多く牡丹菊花等を造りて縦覧不供しぬ

○板橋町中仙道の首駅にして日本橋を距る西北二里許妓樓旅舎雜貨店軒端を列ねて往来多く車馬絡繹として最繁昌の地なり駅の中央を横流する川を石神井川といふ此川は小板橋を架すと以て板橋の名起るといふ板橋駅停車場あり品川赤羽間の線路不當る即ち板橋停車場あり板橋は旧上下の二駅に分ちしが今板橋町と下板橋村とよべり村の東端より東折し板橋町を経て練馬村より白子膝折に至るを河越街道といふ○板橋原は總て板橋と称する地を爾よべり此地は旧廣瀨な

板橋驛



了平原不^レあきばなり
 ○乘蓮寺慶學院と号す下
 板橋村不^レあり浄土宗不^レ
 て應永年間の草創不^レ係^レ
 當寺ハ此地の郷主板橋忠
 康の菩提寺不^レて境内不^レ
 同氏の墓あり
 ○木下稻荷祠板橋町の端
 より左の小路を入りて智
 清寺といふ浄家の寺域不^レ
 奉祀す相傳ふ豊臣秀吉未
 だ木下藤吉郎と称せし頃
 尊信せし所の神不^レて遂不^レ

天下の大將となりけむいとて世不^レ木下出世稻荷とよぶり

○清水坂志村不^レあり俗地藏坂ともいふ此地嶮岨不^レて行人
 大不^レ悩^レむけむバ寛保年間大善寺の住持旅行の苦難を救いん
 として勸進の功をつのり木を伐り荆と葎り石を疊^レ石階を造^レ
 りし処なりといひ清水薬師堂ハ坂の下不^レあり大善寺と
 号す曹洞派の精舎不^レて境内不^レ清泉泌^レ沸するを以て清水薬
 師と称べり

○熊野権現清水坂の上西の方涯續き不^レあり祠の後ハ涯不^レ臨^レ
 みて松杉等の老樹鬱蒼たり就中樟の大樹ハ三圍^レ余ま^レり域
 内廣^レくも幽邃の趣きあり

○圓福寺西臺山と号す志村の西臺とよぶる処不^レあり曹洞宗
 不^レして太田道灌の開創する処なり

○松月院萬吉山と号す赤塚村不^レあり曹洞派の浄舎不^レして常

會地なり永正年間の草創不係る

○千葉家古城趾同所なり土人の城山とよぐり今ハ官林と
なり頂き細り然まども空塹の形等其俣不残りて迂城内
城と覺しき外あり

○吹上觀音堂中新井村なり福田山東明寺と号す臨濟派な
り境内高阜なり樹木多く静逸の境なり

○長命寺上練馬村なり新高野又東高野と呼ぶ真言宗なり
當寺古への東光觀照等の子院あり堂塔輪煥として費を並べ
實不野山の佛をふせしも火災不罹りて經營烏有となり元録
年間再建すといへども旧觀を復する能はず今ハ其十が一を
存する不過ぎなり

○上練馬村ハ蘿蔔と名産とす練馬蘿蔔と稱して世不賞せらる

○志村原ハ旧本見蓮沼根葉をいへる村落不互まざる曠野不

して九池のある所なり

○石神井川源を石神井村の三宝寺の池より發し関村溜井の
下流を合せ王子滝野川豊島の諸村を経て荒川不入其水極
めて清冽なり

○愛宕神社石神井村の林岡なり其地東西百五十步南北百
余步相傳ふ太田道灌の城跡なりと俗城山と呼ぶ前ハ関川を
抱き後不遷井を負ひ北ハ小阜ありて遙不富士峰を望み南數
百步を過て直塘あり道灌塘と稱も閑雅の地なり

○三宝寺の池同所不あり周四三十余步中ハ一島嶼あり天女
の祠を建つ此池の水冬温ハ不夏冷なり霖雨不溢まざる旱魃
不涸屯湯々汗々として數十村の田畝不灌漑也下流ハ則ち石
神川なり

○谷中村の生薑三河島の菘等産物の最も名あるものにして

DOKAN YAMA.



〇諏訪明神社同所北の方諏訪臺あり元亨の頃の奉祀不
 て其後太田道灌此地を江戸城の出張砦とせし際修營して郭
 内の鎮守とせしと社頭あり杉の木立生繁りて矯々たり地
 高崖不して眼下不千歩の田園を見下し風色最とも幽雅の境
 味も亦美なり
 〇日暮里谷中村感應寺の北より道灌山不至るを界とす此辺
 の寺院庭中不奇石を疊て假山を築き種々の草木を植五け
 きば四時日として花の絶ることあり弥生の頃より茶店酒亭
 の椀几の処せきまで相列ね遊賞するもの袂と接して来り春
 の日の永きを覺えぬも此里の名不しおくるものならんとい
 旧時のことありて今ハ名のみ不して寂寥たり特不近時此里を
 距る僅の地不焼場の設けありて終日臭氣四方不紛て鼻を掩
 たり
 〇諏訪明神社同所北の方諏訪臺あり元亨の頃の奉祀不
 て其後太田道灌此地を江戸城の出張砦とせし際修營して郭
 内の鎮守とせしと社頭あり杉の木立生繁りて矯々たり地
 高崖不して眼下不千歩の田園を見下し風色最とも幽雅の境
 味も亦美なり
 〇日暮里谷中村感應寺の北より道灌山不至るを界とす此辺
 の寺院庭中不奇石を疊て假山を築き種々の草木を植五け
 きば四時日として花の絶ることあり弥生の頃より茶店酒亭
 の椀几の処せきまで相列ね遊賞するもの袂と接して来り春
 の日の永きを覺えぬも此里の名不しおくるものならんとい
 旧時のことありて今ハ名のみ不して寂寥たり特不近時此里を
 距る僅の地不焼場の設けありて終日臭氣四方不紛て鼻を掩
 たり
 〇諏訪明神社同所北の方諏訪臺あり元亨の頃の奉祀不
 て其後太田道灌此地を江戸城の出張砦とせし際修營して郭
 内の鎮守とせしと社頭あり杉の木立生繁りて矯々たり地
 高崖不して眼下不千歩の田園を見下し風色最とも幽雅の境
 味も亦美なり
 〇日暮里谷中村感應寺の北より道灌山不至るを界とす此辺
 の寺院庭中不奇石を疊て假山を築き種々の草木を植五け
 きば四時日として花の絶ることあり弥生の頃より茶店酒亭
 の椀几の処せきまで相列ね遊賞するもの袂と接して来り春
 の日の永きを覺えぬも此里の名不しおくるものならんとい
 旧時のことありて今ハ名のみ不して寂寥たり特不近時此里を
 距る僅の地不焼場の設けありて終日臭氣四方不紛て鼻を掩
 たり

ASUKA YAMA.



の植る所みして内い遊觀
 の便と一外の藪蕘の為
 す年を越て花木漸く林を
 たりすに至り騷入墨客ハ句
 と摘ミ章を尋ね牧童樵夫
 ハ秣を苜薪を採りみいあ
 まじと弥生の頃ハ桜花爛熳
 として芬香袂を歴す近來
 官園地を經營してけまば
 更一層の美觀を添へ閑
 みして幽をたらず瀕みして
 繁ならず實ハ一大勝區と
 ありぬ

川の遠帆ハ緑樹の陰ハ隱見ハ白鷺の飛ぶが如くみいあま
 其風色さふら画中ハあるが想ひありふき
 ○道灌山一名を城山といふ往古太田道灌江戸城ハあり一頃
 出張の砦とせし跡たりともいひ又道灌坊といへる者の第宅
 地たりともいふ此地草木生ひ茂りて幽雅の趣あり殊ハ聽虫
 の名所として其名著る一聽虫ハ文月の末を最中として虫塚の
 辺を以て奇絶とす詞人雅客此ハ來りて終夜其清音を賞す就
 中璋児の声ハ勝せて艶ハ一蒹蕢諷訪娘の憐たると金琵琶
 の振捨がとく思はず有明の月を待出るとも一興たりとして幽
 人韻士の此ハ來り風ハ詠ハ月ハ歌て其声を愛せしハ旧時
 ことあて今ハあることともなす
 ○飛鳥山王子村ハあり東京七公園の一たり其地高燥ハして
 遠眺ハ宜しく春花秋草夏涼冬雪の勝あり桜樹ハ元文の頃幕府

○北麓み川なり音無川といふ此川不架する橋を飛鳥橋と稱す川流極めて清冽なり此辺茶亭酒樓多く皆川に臨みて構へ樓も亦蒲洒なり此地都下を離るるといへども地は停車場の設けありて汽車の便ありぬるに來り賞し來り飲むもの陸續相接し終日流に臨みて盃を洗ひ沈醉歸ると忘るもの多し殊に夏日の凜々たる川風不炎暑を拂ふを以て最も避暑不宜しく夏日の長きを消する究竟の地なり

○王子神社飛鳥山の西北にあり郷社にして伊弉冉尊を祀る文龜年間の奉祀なり

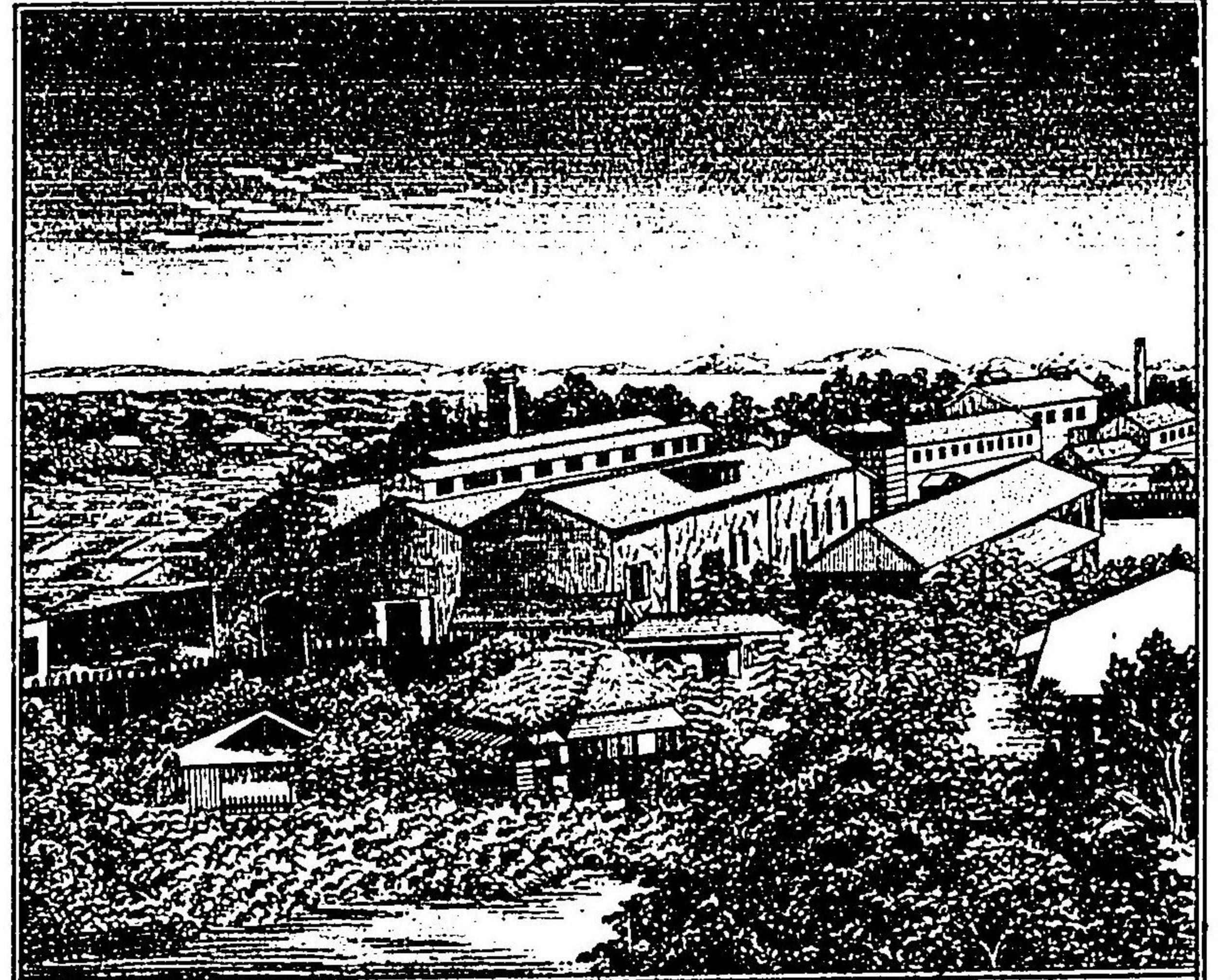
○王子稻荷社同所の北にあり倉稻魂命を祀る月毎の午の日には詣人多し殊更二月初午の日例祭には詣人群集して最も賑ひぬ飛鳥山の辺りより旗亭貨食舗或は丘に對し水に臨みて軒を列らね蒲洒の室美麗の席と出来ものありて割



烹をたすぬるは蟬娟阿娘宴席の周旋を以てけきハ來り遊ぶもの多く倍繁昌をたすぬ

○音無川王子神社の南麓を流る川にして実ハ石神井川なり其水極めて清冽なり

○抄紙部と稱して製紙會社ハ飛鳥山の東麓にあり大藏省に屬す煉瓦造りて結構宏大なり製紙器ハ蒸氣力を使用して各種の



紙と製す其器械の巧妙実
 驚きぬべし
 ○船橋辨天祠滝の川にあ
 り此地の石神井川に臨ミ
 て自然の山水あり兩岸高
 く桜楓の二樹枝と交へ春
 秋とも眺めある一勝地
 なり
 ○龍不動尊正受院は安置
 す此境内まゝ滝野川に臨
 んで風光あり堂後の坂路
 と下きば飛泉あり不動の
 滝又泉流の滝といふ溜々

不動之瀧



とて峭壁に趨き頗る壯
 觀なり此境に常は蒼樹蒼
 鬱として白日を遮り青苔
 露滑にして旧時人跡稀
 なり一が今日に至りては
 斯る幽邃の場を愛するも
 の多く暑月の如き雑沓
 せぬをうりたり
 ○滝の川の石神井川の下
 流にして紅楓を以て其名
 著しく晩秋の頃閑人雅客杖
 を曳くもの引きもまきらす
 最賑ひをなせり

○静勝寺自得山と号す曹洞派の精舎ホリて岩淵町の稻付とよぶる処ホリ此地ハ太田道灌閑謙の居跡ナリ道灌亡ぶるの後狐兔の棲居となりて中頃萍水浮雲の僧ありて此処ニ草庵を結びて道灌寺と号けりこゑを當寺の草創となす其後太田家より當寺を建立して静勝寺を更とめたりといふ境内高燥よして樹木陰森龜が池ハ堂後ニありて廣袤數十歩清冽掬すべく閑雅幽靜の境なり

○赤羽停車場岩淵町の赤羽ニ設く上野より高崎ニ至る第三の停車場よして新橋よりの線路連絡する処なり

○赤羽八幡宮赤羽ニ奉祀す中古大ニ荒廢せしを文明年間太田道灌再興せしといふ社地高阜ホリて樹木生繁り最幽邃の趣きあり

○川口の渡荒川の上流豊島川の渡船場ホリて川口村ニあり

○川口村ハ往古より鍋匠ありて其名著る近來鑄物師益其製を極めて鐵瓶鍋釜ハ更なり其他各種の鑄物を製す此の地の工業名産なり

○善光寺平等山と号す天台宗ホリて川口村ニあり建久年間ノ草創ニ係て古刹なり城内ニ東明院西善院寺あり地廣濶よして且樹木繁生ノ頗る幽靜の趣きあり自ら古刹なるを知るニ足る

○千住大橋ハ豊島川の下流荒川ニ架する橋ホリて都下六大橋の一千住町ニあり

○千住町ハ南足立郡の地ホリて北豊島郡ニ跨り妓樓旅店商舖軒を錯へて小繁華をなす町を夾んで荒川あり舟楫の便殊ニ宜し此川ニ架する橋ハ即ち大橋なり毎朝野菜河魚の市を閑く甚だ繁昌なり町の東北端ニ二道あり竹塚村を經るものと陸羽街



道々新宿村を經るりの
 陸前濱街道と二道の
 中央より花畑村を經
 る一路を下妻街道とす町
 の中央ハ枝楼多く俗呼ん
 で大千住といふ田畝の間
 又絃声を聞く一の消魂場
 たり此地製絨所あり農商
 務省は属也
 ○小塚原ハ山谷町と千住との閑
 原の地を云田幕の頃梟首場
 露石藏佛ハ厲鬼の依所浄土
 寺法華寺ハ魂魄の浮るび

所たり故を以て念佛の声常々絶之む香火の烟日夜薰く閑寂
 惨怛の地ありしが維新の後ハ原野觀と更め今復荒涼をた
 漸く家屋櫛比の巷とかり街衢相連かりて唱歌の声南柯の夢
 絶ゆる隙なき有様に至りしが浮世の變遷とて怪むる足り
 ぬへ其千住町と接する所ハ俗小塚と稱して妓樓多あり
 も美麗といひ難けむ
 ○飛鳥神社小塚原あり此地の鎮守として俗小塚原の天
 王と呼ぶ大己貴命事代主命の二神を祀る
 ○誓願寺惠心院と号む飛鳥神社の北あり浄土宗として惠
 心僧都の開基なりといふ
 ○總持院五智山と号む西新井村あり真言宗として弘法大
 師の草創あり寺又大師の冥像を安置む俗西新井の大師とい
 ふ大師の像ハ大師の自作として冥驗著しとる毎月二十一日



百九十六

まの開帳ありて参詣のもの頗る多く境内最賑へり

○煉瓦製造所荒川の北岸江北村の小臺とよぶる処あり此辺の土質煉瓦成製するに宜しきを以てかり其製出せる所の煉瓦も亦大かり

○浅草紙の西新井村の興野本木おどよへる地の製産よして比屋皆浅草紙を漉て都下又販く其製出夥多よして此地一の産物なり

郡郷東南北の部

○堀切花菖蒲 南葛飾郡南綾瀬村の堀切とよべる処ハ花菖蒲の名所よして植木屋武藏屋かとの庭中よ多くの名花を培養してけむハ花のころよハ騷客群集して寂と賑ひをかぬ

○西光寺超越山と号き立石村淡江よあり葛西三郎清重の開基よして往古ハ浄土宗かり一が今ハ天台宗よ更とめたり本尊の取壇よ清重彫刻の聖徳太子の像と安置し

○清重稻荷社西光寺西の畑中よあり松杉の樹木生茂たる古叢よして葛西清重の墳墓の地といへり今稻荷祠を奉建して清重稻荷といふ

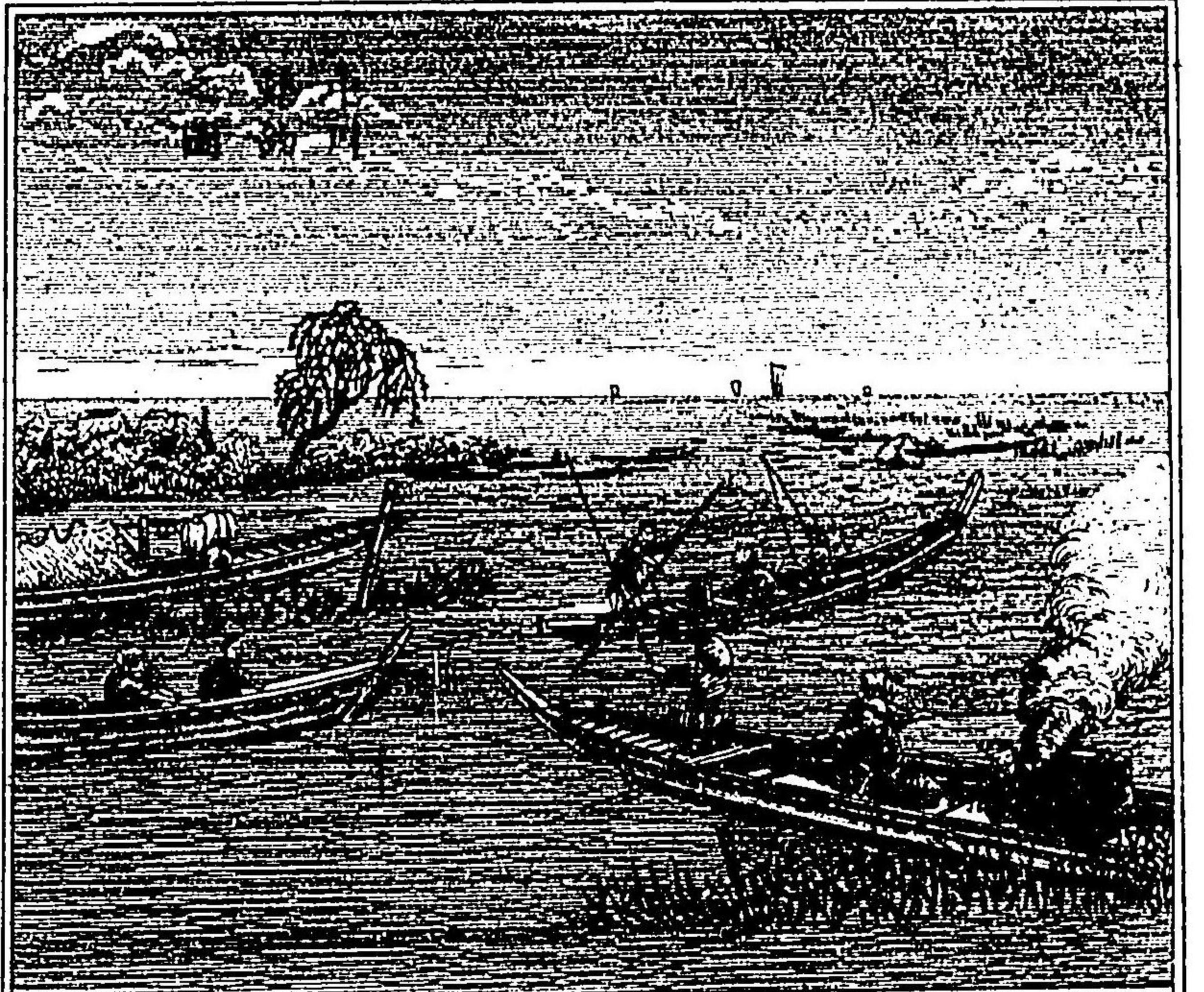
○青砥藤網第宅の舊跡亀青村の青戸よあり俗呼んで城址又御殿趾といふ杉樹の高々たる中よ小祠あり

○木下川薬師堂隅田村の木下川よあり浄光寺薬王院と号す



天台宗の寺院に安置せし験ありとて参詣するもの常々絶之
 以香火の地たり境内に弁天祠
 観音堂あり境を繞りて樹木深
 翁自ら冥場出現
 ○中川の隅田川と利根川との
 中間に夾まざる川流なり故に
 中川の号あり其源は北葛飾郡
 より発し亀青平井隅田及び小
 松諸村を経て海に入る漕漑に
 宜しく又舟楫の便あり此川の
 鱈と名産とを春鱈は四月の末
 より五月に入りて盛んあり秋鱈

ハ九月の末より十月中旬を節とせし已に十一月とかり寒氣よ
 移るハ沖よ出るを以て川釣は幸かといふ鱈の素人よも釣
 り易けをハ遊釣面白くして愉快かり
 ○普賢寺日照山と号せ南綾瀬村の上千葉よあり新義真言宗
 よして弘安年間の草創かり本尊薬師如来ハ有名の仏工春日
 の作かりといふ
 ○善通寺真光山と号せ逆井渡口の東よして松江村よあり一
 向宗よして西本願寺に属せ
 ○小松川菘松江小松村の名産よして都下よ出に大に賞味せ
 らる
 ○小松村ハ中川の東岸よあり行徳市川二道よ出る岐路よ
 て松江村に連かる村落かり
 ○妙音寺医王山と号す松江村よあり真言宗よして建久年間開創



の精舎かり本尊ハ春日の
 作かりといふ堂前の池中
 2天女てんによめあり
 ○妙勝寺本覚山と号なづを葛
 西村あり日蓮宗よりして
 中山一鶴寺葛西の觸頭ふれくちうた
 り弘安年間の草創よりして
 宗祖日蓮の像ハ日祐上人
 の作かりといふ
 ○葛西海苔ハ葛西村およ
 び瑞穂村のあぐり産物
 了ものをいふ浅草海苔
 とハ異なるものよりして紫

菜の類なり

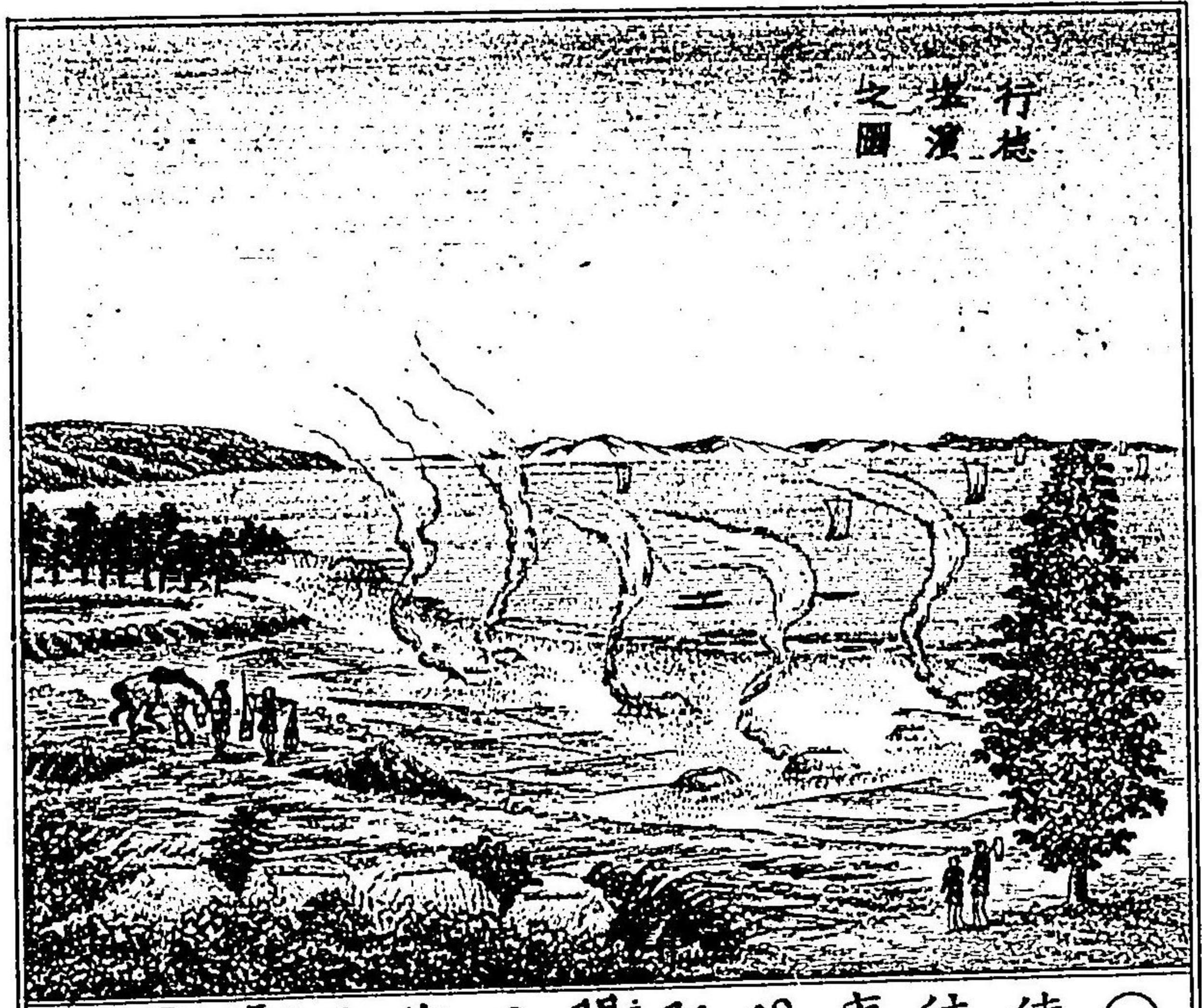
○妙福寺天川山と号を瑞穂村の下鎌田にある浄土宗あり親
 鸞上人御影堂太子堂境内あり本堂の後鏡う池と称する

小池あり

○帝釈天王金町村の柴又あり經栄山題經寺安置を当時
 ハ寛永年間の草創よりして帝釈の像ハ靈驗ありとして常々詣を
 せらるもの多し此地東京と距る二里半許あるも都人士の信仰
 最も厚く群糸殆と虚日かきが如し

○新宿町ハ中川の東岸ありて陸前濱街道たり地は渡場あ
 りて小繁華をなす

○夕顔観音堂新宿の渡口より半里許西北に当り中川の堤に
 沿ふ飯塚村あり堂前ハ松根の二樹雙立し枝葉繁茂して庭
 上を掩へり



行徳之濱

○徳願寺行徳山と号を行徳町とあり浄土宗として往古に普光庵といへる草庵ありしが慶長年間寺院に開創して徳願寺とよぶ即ち今の寺院あり境内に閻魔堂あり閻魔大王の像の本尊と共に仏工運慶の作かりといふ域内廣くして樹木あり泉水ありて静逸の境あり

○塩濱行徳の海濱十八ヶ村と渉せりといふ此地風光

○半田稻荷社金町村とあり境内閑雅の趣きあり

○煉瓦ハ金町村の産かり此地の土質煉瓦と製せざるは適とるを以て上等の煉瓦と製出と

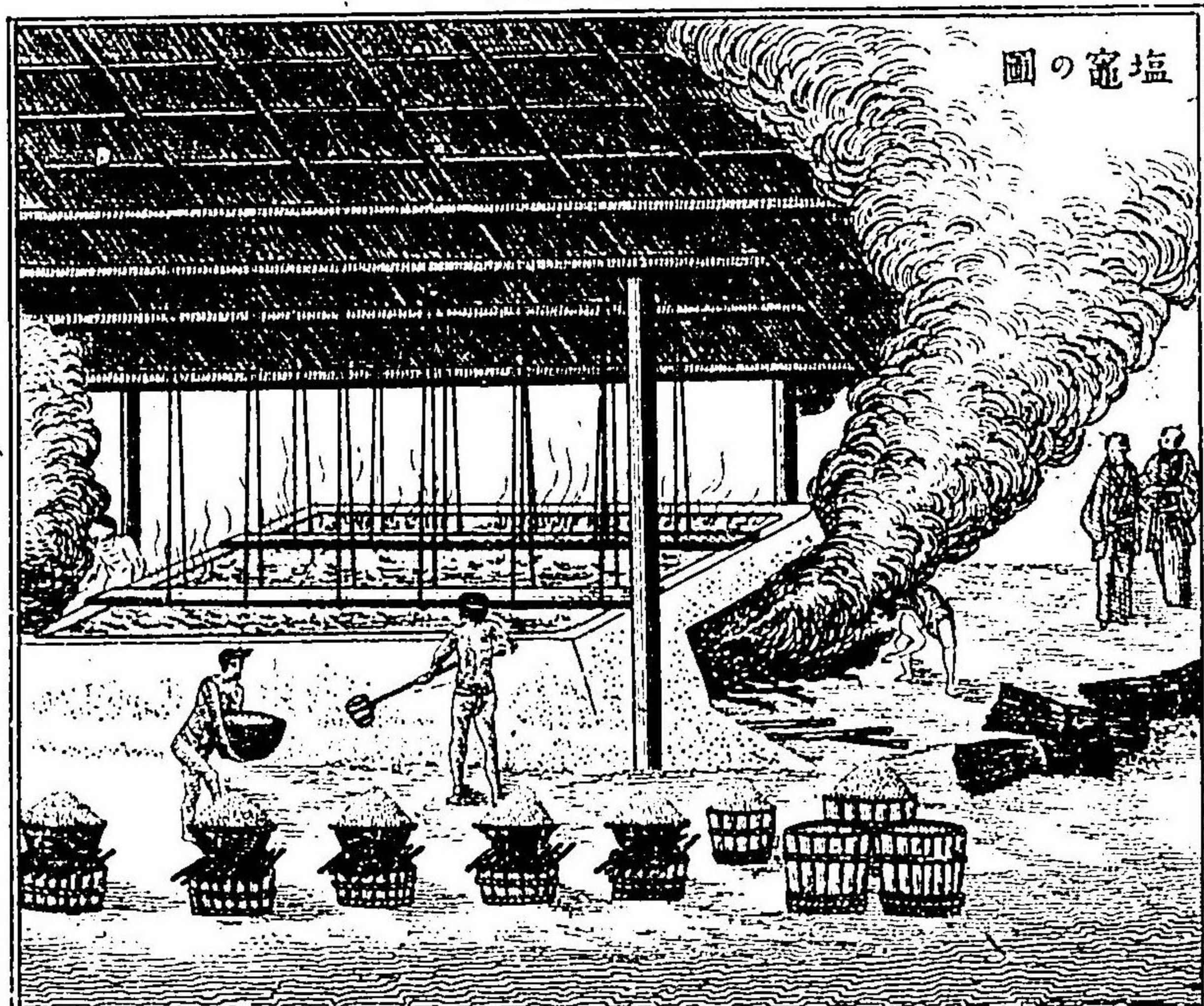
○小合溜井水元村の小合とよべる東界とありて大なる池沼あり

○松戸宿常陸街道より酒亭旅舎商舗軒を連ねて小繁昌の地かり

○行徳町ハ房總及び常陸等の街路に当り往來多く殊に成田不動へ詣るもの此と過りぬまば旅舎酒樓等もよめ繁昌かり且つ古より河岸の設けありて東京小細町との舟路と開き荷物の運輸往來の客が便とふせし近時ハ特は小蒸嵐船の往復ありて一層便利なる処とふま

○八幡宮行徳八幡といふ行徳町とあり此地の鎮守あり

圖の竈塩



頗る絶佳よして海を隔て
 房總の諸山を眺め海上白
 帆の走ると望みて幽趣も
 亦閑裕かる処あり
 ○行徳塩行徳の産物あり
 此塩濱よて塩と製するの
 権輿ハ最も古くして其始
 めを知らむといへり世
 行徳塩と称して食料とか
 他は超越て堅強よして
 久しきを保つハ人の知る
 所なり今尚塩竈のけふり
 絶えざる益々其製と極め販

路を大よせんとは

○新利根川行徳を流る故は行徳川ともいふ其源ハ上野の
 利根郡文珠岳の幽谷より發し高科川吾妻川烏川碓井川及び
 信濃の國郡より出る諸流を合し武藏の幡羅郡に至り一とな
 り又上野の渡瀬川も此に會合し栗橋より分れて二派となり
 一ハ北総に入り關宿木風等の地は沿て東流し鉾子の口より
 海に注ぐ呼んで坂東太郎といふ一流ハ武藏下総の間を南流
 し國府の臺の下を行徳の方へ曲流して海に入るを新利根
 川と稱し舟楫の便漁網の利あり

○總寧寺安國山と号し市川駅の北方の丘よして利根川の流
 る傍る所あり曹洞派の淨舎よして關東僧録司三箇寺の一
 員なり境内廣く樹木陰森として利根の清流は臨みて風致頗
 る幽邃眺望極めて絶佳なる処あり實は一仙境とやいふ人の



○國府の臺古戰場總寧寺の境内もべて其舊跡あり文明年間北總の一揆臼井此城を楯籠りしとき太田資持兵を起し此地に陣城を構へ遂に一揆攻めやかりし要害の処にして其後天文年間北條足利の對陣せし舊跡あり

○鐘々淵の國府の臺下の断崖のところをいふ里見氏敗陣の時陣鐘茂此に沈めし故に此名あり

○國府臺断崖總寧寺の丘續きよして利根川に臨み断崖数段澄潭一碧なる処あり其風光の明媚なる仰き望めば遙に富岳を白雪を戴き俯して水崖を臨めば白帆の往來をみるあり四方の眺望双眸の中より集り絶景絶妙の地あり

○陸軍教導團兵營の國府臺に設く宏壯の兵營相連りて觀望最と威嚴あり

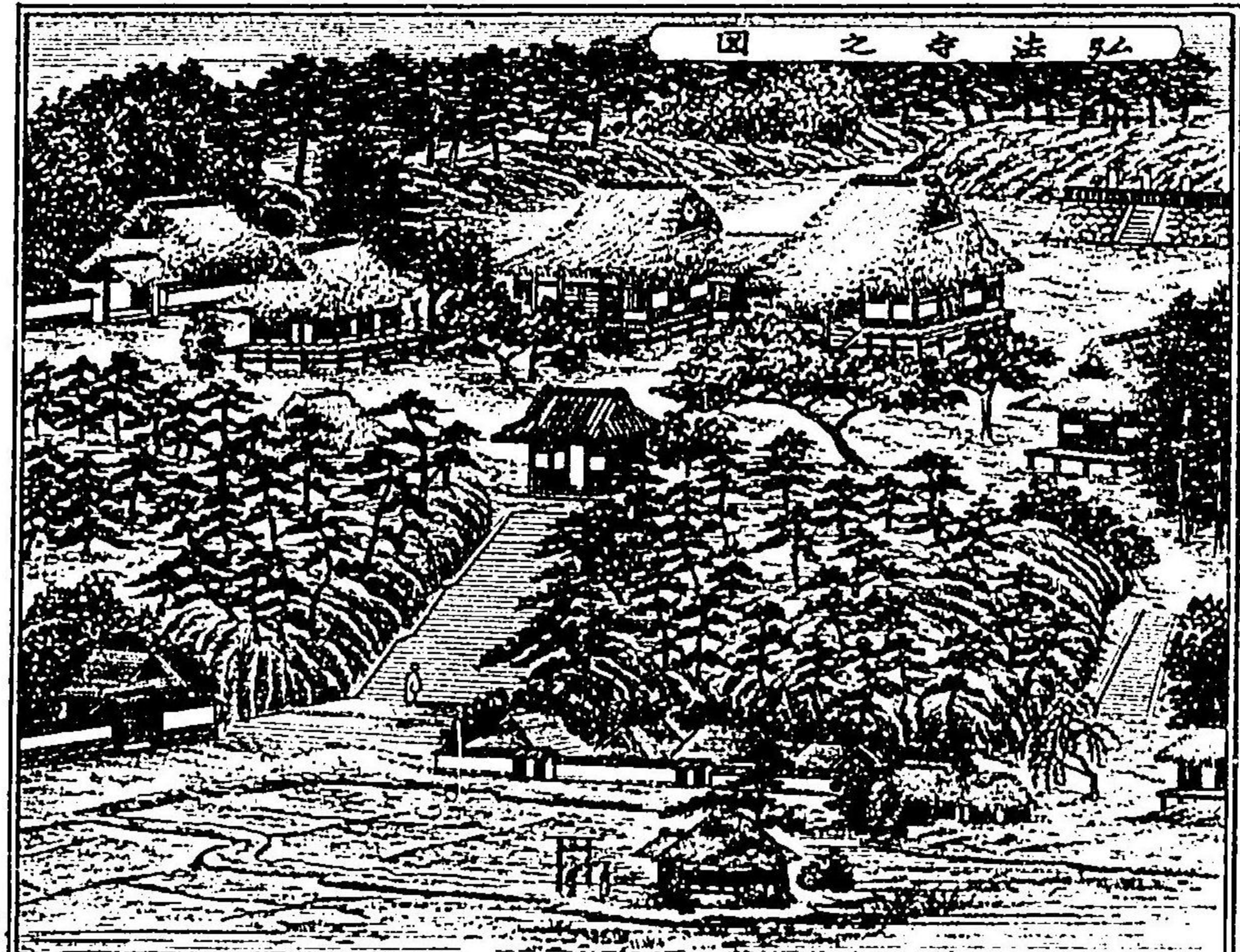
○弘法寺真間山と号す市河村にあり日蓮大師弘法の地にして六門家と稱する所の其一員あり境内高岡にして樹木林をか其間堂塔竝立ち自ら靈域たるが如し支院十餘宇の各磴道の下に列り大門の松並木にて六丁余あり十月十三日の宗祖の忌日なりして御影供の修行あり近郷近在より道俗群参して頗る雜沓を惜べし堂宇悉く為有る屬し只山門と紅楓とのみ存せり紅楓は古來頗る著名のものなり

YAWATASHIRAZU NO MORI.



常陸及び房総の街道より
て人家多き所あり当社
寛平年間の奉祀より建
久年中源頼朝朽傾の社壇
と修營ありより封域廣
くして壯麗かりしが又星
霜経て今の老樹鬱蒼と
して上久たる神垣とあり
よき
○八幡不知森八幡村にあ
る一の深林あり方二十
歩許は過ぎむ往古八幡宮
鎮坐の地ありといふ即ち

GUHŌJI.



○真間手兒名舊跡弘法寺の
門前あり手兒名の墓の跡
かりといふ後世祠を營みて
こまを奉り手兒名明神と稱
す
○梨園真間より八幡へ行く
道の間あり花盛のころよ
ハ雪と欺くよ似たり實は梨
花白雪香といひ此言からん梨
熟するより当り都下は販ぐ
其味殊よ美かり
○葛飾八幡宮真間より里許
東かる八幡村あり八幡村の

深林の中よ石の小祠あり里老いふ人諺りてこの中よ入る時
 も必らむ神の崇よ遇以再ひ出ること能いさうり故よ八幡不
 知の名ありとて入ることと禁い垣と繞らむるありと寂と
 奇談かりよ又或人云ふ此森の周囲ハ悉く八幡村の地よ
 て森林の地のみ行徳の持分かりけきバ八幡村の中よ入り會
 ふとも他村の地なるがむえよ八幡の八幡不知と字せしから
 んと爾もあがりぬべし

東京名所圖會終

明治廿三年二月五日印刷
 全 廿三年二月十日出版

定價四拾錢

編述者

全 東京市淺草區榮久町廿二番地
 原田真一

版權發行所
 版權登錄

全 日本橋區新大塚町十番地
 小林喜右衛門

全 若松町廿一番地
 神原友南

全 本町四丁目十八番地
 杉本七百丸

全 京橋區南傳馬町貳丁目五番地
 水落忠次郎

全 三十間堀三丁目十九番地
 大須賀龍潭

版權所有

印刷人

特 別 大 賣 捌 所

<p>一 京橋區南傳馬町 目</p>	<p>全 全</p>	<p>全通四丁目</p>	<p>全通三丁目</p>	<p>全通二丁目</p>	<p>日本橋區 通壺丁目</p>	<p>全壺丁目</p>	<p>全南傳馬町 目</p>	<p>銀座四丁目</p>
<p>吉川半七</p>	<p>金櫻堂</p>	<p>春陽堂</p>	<p>丸善書店</p>	<p>小林新兵衛</p>	<p>大倉孫兵衛</p>	<p>松山堂</p>	<p>目黒十郎支店</p>	<p>博聞本社</p>
<p>全</p>	<p>神田區 裏神保町</p>	<p>全本石町</p>	<p>全大傳馬町 二丁目</p>	<p>全通油町</p>	<p>日本橋區 横山町三丁目</p>	<p>全三好町</p>	<p>一 淺草區馬道町 目</p>	<p>飯塚八太郎</p>
<p>富山房</p>	<p>三省堂</p>	<p>上田屋</p>	<p>長島分店</p>	<p>水野慶次郎</p>	<p>辻岡文助</p>	<p>大川屋錠吉</p>		

